

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2021 10
令和3年10月27日発行
No.114

やまのべ 議会だより 2021年10月号 VOL.114



お米そだったよっ!

第3回臨時会	2
9月定例会	4
決算特別委員会	6
議案審議	8
一般質問	10
広報委員会の紹介	14

写真/ゆりかご幼稚園の稲刈り
(関連記事 14ページ)

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



あなたの声をお聞かせください

～「さがみの里」竹遊会の方からのメッセージ～

拡大する放置竹林の解消を目指し、竹の素材を活用してのモノづくりと環境保全や有害鳥獣対策を講じながら、竹林再生に向けて会員(25名)が創意と工夫を凝らして協働事業に取り組んでいます。(問い合わせ:090-2792-5096 鈴木謙一)

作業道への敷砂利と重機などの貸出しを。

有害鳥獣対策(特にイノシシ)の強化を。

放置竹林防止のために
粉碎機の導入を。



会員総出による
竹林整備作業

農林産物の加工施設の
設置を。



近江公民館事業
「竹あかり」製作
完成品

西部地域を活用したトレッキングコースの計画を。

竹粉・竹炭・竹製品などの
特産品づくりの振興を。

—私たちはみなさんの活動を応援しています—
皆さまからいただいたご意見を町政へ反映していきます

表紙の説明

青空がどこまでも続く秋
晴れの9月10日、ゆりかご
幼稚園「たんぼのがっこう」
の稲刈りが行われました。
最初に大きなコンバイン
があつという間に稲を刈り
取る様子を見学し、その刈
り取つてできた道を歩いて
いよいよ田んぼの中へ。
達人と一緒に鎌を持ち稲
を刈る時は緊張した様子の
子ども達も、刈り終えた後
はこの笑顔。
達人が手際良く杭がけを
し、天日に干したお米は美
味しいおにぎりになるそう
です。みんなで食べるのが
楽しみです。

お知らせ

令和3年度
未来を話す会は
新型コロナウイルス
感染症拡大防止のため
中止といたします。



町の災害情報メールに
ご登録ください。

緊急時に
町からのお知
らせが届きます。

<https://service.sugumail.com/yamanobe/> (携帯)
<https://service.sugumail.com/yamanobe/member/> (PC)

電話でも内容が確認できます ☎ 023-629-0011

編集後記

今号より新たな広報委員で
「議会だより」を作成すること
になりました。
さらにわかりやすく、皆さま
に興味を持って読んでいただ
けるよう努力してまいります。
現在、コロナ禍で議会報告会
や出前議会など制限があります
が、なるべく多くの皆さまの声
をお聞きしたいと思います。
ご協力お願いいたします。

渡邊 裕二 記



- 発行責任者 樋口 和男
- 広報常任委員長 渡邊 裕二
- 委員 安達 春彦
- 委員 遠藤 真由美
- 委員 佐藤 利博
- 委員 竹保 朋和

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



議長 樋口 和男氏 副議長 遠藤真由美氏

全力で山辺町の活性化を目指す!!

新たな体制でスタート!



厚生産業常任委員会



総務文教常任委員会

8月26日に臨時会が開かれ、議長と副議長が選出されました。議長は樋口和男氏が再選、副議長には遠藤真由美氏が選ばれ、山辺町初の女性副議長が誕生しました。

議長は投票となり、樋口和男氏が10票、武田啓一郎氏が1票獲得しました。副議長は指名推薦となりました。

各常任委員会委員、特別委員会委員も決定し、新しい議会活動がスタートしました。



議長あいさつ
樋口 和男

令和元年9月の議長就任に引き続き、この度、議長職を務めさせていただきました。

「静かなる有事」とも言うべく人口減少が続く背景とともに、20年以上続くデフレ経済そして、収束が見えない新型コロナウイルス感染症の中にあり、感染拡大防止と経済再生、

国道458号バイパスなどのインフラ整備と雇用の確保、少子化対策と福祉の充実、災害に強いまちづくりなど当町の諸課題を少しでも前に進めるため、縮小しつつも充実させていく「縮充」の実施に向け町民皆さまの声に耳を傾けながら、議会一丸となって努力してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止により町民皆さまとの対話が少なくなっている状況が続いておりますが、一日も早く回復することを願っています。



副議長あいさつ
遠藤真由美

今世の中は昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済、社会環境や生活が大きく変化し、人と人との繋がりを遮断するような状況になっております。これまで以上に社会教育や人としての生きがいを持つことの重要性を感じております。

この閉塞感の中だけ

からこそこれまで以上に町民のみなさまの声を聞き、町のさまざまな課題についてもスピード感を持ってしっかりと政策に反映させていくこと。より身近で開かれた議会を進め信頼される議会を目指してまいります。

初の女性副議長という重責を担うこととなりましたが、議長を補佐し、円滑な議会運営を心掛けることも、執行部とも活発な議論を交わしながら、より良い町政発展のために鋭意努力してまいります。

各委員会等の構成

◎委員長
○副委員長

- ◇総務文教常任委員会
 - ◎安達 春彦 ○神保 稔
 - 樋口 和男 渡邊 裕二
 - 竹俣 朋
- ◇厚生産業常任委員会
 - ◎齊藤 昭彦 ○鍋倉 竹志
 - 武田啓一郎 遠藤真由美
 - 峯田 博 佐藤 利和
- ◇議会広報常任委員会
 - ◎渡邊 裕二 ○安達 春彦
 - 遠藤真由美 峯田 博
 - 佐藤 利和 竹俣 朋
- ◇議会運営委員会
 - ◎神保 稔 ○齊藤 昭彦
 - 鍋倉 竹志 遠藤真由美
 - 渡邊 裕二 安達 春彦
 - ◎武田啓一郎 ○渡邊 裕二
 - 齊藤 昭彦 鍋倉 竹志
 - 遠藤真由美 神保 稔
 - 安達 春彦 峯田 博
 - 佐藤 利和 竹俣 朋
- ◇行政調査特別委員会
 - ◎鍋倉 竹志 ○佐藤 利和
 - 齊藤 昭彦 武田啓一郎
 - 遠藤真由美 神保 稔
 - 渡邊 裕二 安達 春彦
 - 峯田 博 竹俣 朋
- ◇最上川中部水道企業団議会議員
 - 鍋倉 竹志 武田啓一郎
 - 竹俣 朋
- ◇山形広域環境事務組合議会議員
 - 渡邊 裕二 安達 春彦
- ◇山辺町監査委員(議選)
 - 神保 稔
- ◇山辺町振興審議会委員
 - 武田啓一郎 渡邊 裕二
 - 峯田 博 竹俣 朋
- ◇山辺町都市計画審議会委員
 - 齊藤 昭彦 遠藤真由美
 - 安達 春彦 佐藤 利和
- ◇山辺町社会教育委員
 - 安達 春彦 峯田 博
- ◇山辺町ふるさと資料館運営委員会委員
 - 佐藤 利和
- ◇山辺町国民健康保険運営協議会委員
 - 遠藤真由美 峯田 博
- ◇山辺町介護保険運営協議会委員
 - 鍋倉 竹志 竹俣 朋
- ◇山辺町地域包括支援センター運営協議会委員
 - 鍋倉 竹志
- ◇山辺温泉保養センター運営協議会委員
 - 鍋倉 竹志
- ◇民生委員推薦会委員
 - 樋口 和男 齊藤 昭彦
- ◇社会福祉協議会監事
 - 齊藤 昭彦
- ◇山辺町観光協会
 - 副会長 樋口 和男
 - 理事 遠藤真由美

町民福祉・行政サービスへ努力

令和2年度 一般会計・特別会計歳出総額

新型コロナウイルス

103億7339万円

認定

第3回
定例会
9/6~9/17

感染予防と対策に注力

令和2年度
主な
重点事業

活発な産業活動を推進するまち

商品券
商品券

* 商工業のコロナ経済対策 プレミアム商品券、融資など

1億5568万円

地域経済の元気を回復

実効性のある
行財政の推進

* 「第4次行財政改革大綱 (R3年度~R10年度)」の策定

人と自然が共生する
資源循環型のまち



しっかり分別してごみの減量を

* ごみ処理事業の公平性

9071万円

(広域環境事務組合負担金)

一人ひとりの充実した暮らしを育むまち

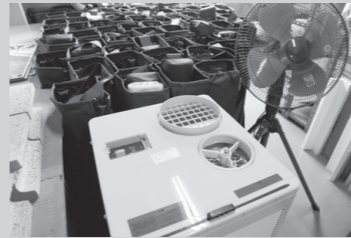


子どもたちへの医療給付で家庭に安心を

* 中学校3年生までの子育て支援医療事業の医療給付

4801万円

安全で安心して
暮らせるまち



スポットクーラー (移動式冷房機) や扇風機、簡易ベッドなど

* 避難所に新型コロナウイルス感染症対策備品の整備

592万円

学びあう文化が
息づくまち



パソコンを活用した学習

* GIGAスクール構想に係る環境整備

9923万円

定例会のあらまし

令和3年第3回定例会が、9月6日から9月17日までの12日間の日程で開催され、6人の議員が一般質問を行いました。また決算特別委員会を設置し、令和2年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算について審査しました。

会計別決算明細

項目	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	75億5039万5117円	73億5042万7784円
特別会計		
国民健康保険	14億1522万7537円	13億8383万4250円
介護保険	15億8490万7755円	14億7259万8742円
後期高齢者医療	1億7102万8358円	1億6652万9958円
計	31億7116万3650円	30億2296万2950円
合計	107億2155万8767円	103億7339万0734円

公営企業会計決算

項目	収益的収入	収益的支出
簡易水道事業会計	3928万3057円	4710万1432円
公共下水道事業会計	3億6417万2358円	3億4352万9996円

監査委員報告



渡邊 博代表監査委員

令和2年度山辺町決算結果は、法令・条例及び規則に準拠し処理されており、予算の執行も適正である。

歳入は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、収納率の低下が懸念されたが、滞納額が減少している。収納対策の強化の成果によるもの。ふるさと納税寄附金が大幅に増加し、返礼品を取り扱う生産者や製造業者が魅力ある製品を作られたものと評価する。

歳出は、通常業務のほかに新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を、限られた職員数の中で取り組まれ、深く敬意を表すが、指摘内容を確認のうえ向上・対策を望む。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、今後も町の負担が増えることが想定され、第5次山辺町総合計画の実現のために、健全な財政運営と財政基盤の確立が図られることを望む。

町民の暮らしを支える予算 **チェック** どう使われましたか？

決算特別委員会 Q&A

9月8日に、議長を除く全議員が所属する決算特別委員会が設置され、委員長に渡邊裕二議員、副委員長に峯田博議員を選出しました。9日、10日は第1分科会（総務文教関係）、13日、14日は第2分科会（厚生産業関係）の審査を行い、17日の本会議にて全員一致で認定しました。

総務文教
第1分科会
総務課・防災対策課・税務課・会計課・政策推進課
教育委員会教育課・議会事務局

Q ハードクレームの数、その対応研修の内容は。

A 案件は年に数回ある。研修は窓口の実践的な対応方法が主な内容。窓口対応などマニュアルを作成しており、継続的に周知、活用しつつ、情報共有についても職員間で連携したい。
(総務課)

Q 町長車の運行において町長の発

言などの守秘義務は。

A 運転業務を委託しており、契約書で秘密保持契約を厳格に定めている。
(総務課)

Q 空き家の定義は。

A 国の法令上では概ね1年を通じて使われていないものとなる。空き家の数は現在275軒となっており、今後も調査を進

めたい。(防災対策課)

Q 町税収納対策に努め、結果収納率が向上できたことに感謝。一方で不納欠損が前年より増えている背景は。また差し押さえの件数は。

A 収納対策の強化により収納率が向上した。不納欠損の理由は、執行停止後、時効による消滅など。差し押さえは、調査143件、実施79件。
(税務課)

Q ふるさと応援記念品で昨年のクレームの状況は。

A 農産物に傷があるなどのクレームがあった。記念品を送り直すなどの対応をし、令和2年度のクレームは全部処理を行った。(政策推進課)

Q 新聞活用教育活動支援事業の内容やその効果は。

A 小学校高学年、中学生が複数社の新聞を見られるようにし、朝の会で記事を紹介したり、各社の記事と比較するなどの活用している。社会的な事柄を取り入れ、学習を行っている。
(教育課)

Q 畑谷城についての今後の考えは。

A 訪問者が多く、また地元が管理していることに感謝。地区との住みわけについて今後、検討していきたい。
(教育課)

Q 学校給食のフードロスの状況は。

A 毎回、計量して廃棄している状況。学年などによってロスの多いところがある。
(教育課)



全国的にも増える空き家の利活用が重要



おいしいと評判の山辺の学校給食

厚生産業
第2分科会
町民生活課・保健福祉課・産業課
農業委員会・建設課

Q 現在マイナンバーカードの普及率は約19%。その向上を図るには。

A マイナンバーカードの利点は本人確認、電子申告が可能であること、今後は保険証の機能を持つなど、国の事業なので連携して推進していく。
(町民生活課)

Q かもしかクラブへの補助がなくなった要因は。

A かもしかクラブは、近隣市町、家庭の負担を踏まえ、施設型に完全移行している。幼稚園、保育所などで専門指導員が指導している。
(町民生活課)

Q 山辺駅前自転車駐輪場の利用状況は。



利用者が減った駐輪場の活用を

Q 収容台数200台の内、申請は170台。減少については16歳から18歳までの人口減少や、車での送迎が増えていることが要因と考えている。

A 町民生活課として他市町村

の状況も勘案し助成制度を変更したばかりなので、推移をみながら検討していく。
(保健福祉課)

Q 特定不妊治療費助成金の内容、所得などの条件は。

A 町の助成の上限は10万円で、夫婦合計所得730万円未満が対象。
(保健福祉課)

Q ナラ枯れ防止事業が当初予算にはあったが。

A 県、森林組合と一斉調査を行った結果、ナラ枯れはあまりなく、2年度は実施しなかった。
(産業課)

Q 6次産業化・地産地消推進事業において給食利用以外の新たな事業は。

A 監視カメラは録画をしていないが、警察の照会があった場合、データを取り出す。
(建設課)



安心して子どもを産み育てる環境の拡充を

Q 舞米豚については、農業再生協会で事業をしている。今後は新商品の開発支援について検討していきたい。
(産業課)

Q 都市公園維持管理事業における駅前広場監視用カメラの運用は。

A 監視カメラは録画をしていないが、警察の照会があった場合、データを取り出す。
(建設課)

住みよいまちづくりを 目指して 議案

令和3年度 一般会計補正予算 3億3326万円を追加し、

条例改正

○山辺町手数料条例の一部改正について

これまでの紙によるマイナンバー通知カードの再交付手続きが、令和2年5月25日をもって廃止されたことから再交付に係る手数料を定める規定が不要となった。また、マイナンバーカードの再交付に係る手数料の徴収は、地方公共団体情報システム機構が町に委託する形に改められた。


○山辺町医療給付金支給条例の一部改正について

地方税法および所得税法で、未婚のひとり親に対する所得控除が適用されることになったため、条例での特例規定が不要になった。

報告第3号

○令和2年度健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

実質赤字比率および連結実質赤字比率は適正に推移しており、現に実質公債費比率は11.3%。また将来負担比率も32.7%といずれも国の基準を下まわっており、公営企業の資金不足も生じておらず、監査委員からも適正の判断を下されている。



○山形広域環境事務組合
合議会議員の選挙
渡邊 裕二 議員
安達 春彦 議員

○最上川中部水道企業
団議会議員の選挙
鍋倉 竹志 議員
武田啓一郎 議員
竹俣 朋 議員

○監査委員選任の同意
神保 稔 議員

○山辺町教育委員会
員任命の同意
渡邊 美和 氏
(大寺)

人事案件

発議

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出

提出者 遠藤真由美 議員

米の需給調整に関する意見書の提出（請願を受けて）

提出者 斉藤 昭彦 議員

請願

請願名	米の需給調整に関する請願について		
請願者	山形農業協同組合 代表理事組合長・山形農協農政対策協議会	会長	岡崎 輝明
趣旨	コロナ禍による予期せぬ需要減に対して、政府備蓄米の運用改善等あらゆる政策を総動員した市場隔離の実施、さらには倉庫の新設や低温倉庫の改修にかかる支援等、出来秋に向けた出口対策を強化・拡充すること。		
紹介議員	武田啓一郎	結果	採択

審議

第3回定例会において、条例の改正や人事案件、令和3年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の補正予算、議員発議など全議案を原案どおり可決、認定しました。また、令和2年度健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について報告されました。

総額 58億4797万円に

一般会計の主な補正内容

- 財政管理事業（町有資産売却などによる積立金） **1億9902万円**の増
- ふるさと応援事業（ふるさと納税事業サービス委託料実績見込み） **3729万円**の増
- 教育・保育施設給付事業（保育料無償化に伴う段階的負担軽減措置など） **976万円**の増
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業（新型コロナウイルスワクチン接種など） **1317万円**の増
- 農業政策総合対策事業（凍霜害による農作物被害支援） **655万円**の増
- 新型コロナウイルス感染症経済対策事業（プレミアム付商品券事業支援補助金など） **2632万円**の増
- 除雪事業（除雪体制の充実のため） **5000万円**の増
- 給料および職員手当（人事異動に伴うもの） **2755万円**の減



特別会計補正予算

会計名	予算増減	総額
国民健康保険特別会計	3474万円の増	14億9709万円
介護保険特別会計	1億1604万円の増	17億5572万円
後期高齢者医療特別会計	433万円の増	1億7217万円

公営企業会計補正予算

会計名	予算増減	総額
簡易水道事業	74万円の増	3280万円
公共下水道事業	3200万円の増	3億6981万円

議会が「政策提言書」を提出

町の政策が発展的、効率的に行われるよう総務文教常任委員会、厚生産業常任委員会、広報常任委員会でそれぞれ議論し、検討してきた政策の方向性を「提言書」として取りまとめ、10月5日樋口和男議長から町長へ提出しました。

1. 自主防災組織の強化
7月豪雨災害を契機に、災害箇所の復旧をはじめ防災マップの改訂や防災備蓄品の整備、併せて新型コロナウイルス感染症対策用として物品の調達などに努められたが、さらに、初期対応に向けた自主防災組織の充実強化に努めること。
2. 空き家対策の推進
少子高齢化、核家族化の進展により、放置空き家が増加し、地域の環境悪化や事故などが懸念される。早急な空き家物件の把握と所有者へ適切な管理の指導を図るとともに、空き家バンク登録並びに移住・定住促進事業の推進に努めること。
3. ICT学習環境の充実
児童生徒の未来のため、ICTなどを活用し、効果的・効率的な学習の推進に努めること。
4. コミュニティバスの利用促進
やまのベコミュニティバスの利用者が減少傾向にあることから、交通弱者支援強化を図るため、75歳以上高齢者の無料化と利便性を高める運行コースの検討、デマンドタクシー運行との連携性を高めることなどを検討すること。
5. 山辺温泉保養センターの利用拡大
山辺温泉利用について、高齢者の入浴支



政策提言書を提出

援として回数券購入支援を行っているが、利用率が低い。高齢者の健康増進と生きがいづくりの観点から、従前以上の無料入浴機会を設けることを検討すること。

6. 6次産業化の推進
町特産品のブランド競争力を高める対外的な地産地消・6次産業化推進を図り、直接消費者への販売促進に結びつく体制を構築すること。
7. 快適な公営住宅の提供
経年により入居率の低くなった町営住宅のリフォームを実施するなど快適な公営住宅の提供に努めること。

官学連携

行政と山辺高校の連携による新たな商品開発



利和（町長） 行政が新たな商品開発はできないが、どのような支援が可能か検討する

質問 今までのような連携があったか。

答 でのイベントも開催された。

質問 平成23年に食料科からレシピの提供を受け地元の畜産業と山辺産のトマトを使用して「まるでとま豚」を商品化した経緯がある。

答 県内の調理系学科の学生および農業系等の学生たちが競うコンテストにおいて、もし来年度以降山辺高校の学生たちのアイデアが採用された場合は学校での研究成果が発揮される成功体験にもつながる事にもなる。

質問 今年度以降の連携は。

答 今年度以降の連携は、

質問 今年度はコロナ禍と山辺高校の参加はなかったが山形県とコンビニエンスストアとの合同



食料科の実習

らいたい。

質問 官と学の連携によるこれからの展望は。

答 山辺高校は命の学校と言われ、山辺高校の教育振興会と町の福祉協議会とも結び付きを深くしている。それにより町内の高齢者の方々へのお弁当の配布などの継続、また学生が開発したレシピの発信により、広く学習の成果を町内外に広げて実践に味わっていただくという考えを通して、支援につなげていきたい。

学校教育

オンライン授業の実現と学校における多様性の教育



朋（町長） 実現できるような努力をする。「多様性の教育」を学校の教育活動全体で取り組んでいく

質問 学校での端末機器の活用度合いは。

答 12月末をめどに進めていく。

質問 若手の導入の遅れで当初は出遅れたが、カメラ機能やネット検索、中学校での英語の授業に活用している。今後さらに増える。

質問 「多様性の教育」として中学校の制服の現状は。

答 上衣は合わせが違う程度で男女の差はない。下衣は男子がズボン、女子がスカート。

質問 端末機器の家庭への持ち帰りを許可していない理由は。

答 女子のスカートは、ジェンダー教育だけでなく防寒や機能性を考えると、スカートとズボンの選択制でもいいのでは。

質問 一つ目は家庭活用可欠だから。すでに検討に入っている。二つ目は家庭のネット環境整備について保護者へお願いする時間も必要だからだ。

質問 端末の家庭への持ち帰りオンライン

答 そう思っている。中学の校長にも選択制の検討をするよう指示



待ち遠しいオンライン授業の実現

町ホームページ
山辺町議会内で
議会中継を
発信中!!



一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

9月の定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

佐藤 利和	官学連携	行政と山辺高校の連携による新たな商品開発を
竹俣 朋	学校教育	オンライン授業の実現と学校における多様性の教育は
神保 稔	玉虫周辺整備	玉虫沼を核とした周辺整備の計画は
安達 春彦	コミバス	コミュニティバス利用の最大化に関する考えは
武田啓一郎	町政指針	町づくりを進める指針町民憲章を尊ぶべき
鞆田 博	感染対策	新型コロナウイルス感染対策について



※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

定例会のお知らせ

次回の定例会は12月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話023-667-1117（議会事務局）

を出したところだ。

質問 10代の自殺の増加は、多様性を認められない社会が子どもたちを追い詰めているからでは。

答 「みんなが同じであることがいい」との考えが昔から学校へ持ち込まれていて、生きづらい部分もある。道徳教育では「みんな違って、みんないい」ということを基本にして多様性を学ばせ、一人ひとりの人格を尊重する姿勢と行動力を育てている。

玉虫沼を核とした

周辺整備の計画は



穂（町長）ラベンダーをメインとした公園の継続性を見極めながら、替わる植物も視野に入れて検討していく

質問 旧玉虫湖畔庄跡地の整備計画は。

答弁 跡地利活用方針の策定については、第5次総合計画との整合性を図り、皆さまの要望や意見を踏まえて、当該地域だけでなく町全体の振興として推進できるように取り組んでいく。

質問 今後の「かおりの畑」の整備計画は。

答弁 ラベンダーの生育環境を3カ年にわたって大規模な整備を実施した。しかし、令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため休園し、また、気候変動による豪雨や長雨、猛暑や豪雪により生育障害が発生するなど、厳しい状況にある。今後も適正な公園の維持管理に向けてさらに検討していく。



玉虫沼を核とした周辺整備による誘客の拡大を

質問 玉虫沼のシンボル「笠松」倒木後の観光面のアピールは。

答弁 玉虫沼は県内最古の農業用ため池で、平成22年度「ため池百選」に選定されるなど貴重な地域資源でもあり、継続的な情報発信と玉虫沼周辺の遊歩道や公園、広場など自然に親しみ、楽しめる観光資源と位置づけ、観光振興計画の策定作業の中でさらに検討していく。

コミュニティバス利用の

最大化に関する考えは



春彦（町長）望ましい交通サービス水準の確保と効率の良い運行に努めていきたい

質問 現在把握している利用者数1万3216人というのは「延べ人数」かと思うが、月1回以上利用する利用者はどれくらいいると想定しているのか。

答弁 正確ではないが50人程度と認識している。厳しい数字と捉えており、今後利用拡大につながるよう努めていきたい。

質問 対象エリアを広げることとは考えられないか。

答弁 指定管理料に直結するので難しい。デマンドバスの価格を引き下げることについて検討できないか。

質問 コミュニティバスを通じての相乗効果をどのように考えているか。

答弁 ニーズを把握し県内外の事例をふまえて考えていく。

質問 交通アクセスの充実を図る上で現在考えている具体的な施策案は。

答弁 スムーズに乗り継ぎできる時刻の設定などを考えている。自由度が高いデマンドバスの便数や

質問 高齢者へのデマンドバスの回数券の配布は考えられないか。

答弁 高齢者へのデマンドバスの回数券の配布は考えられないか。



利用者にさらなる利便性の向上を

町づくりを進める指針

町民憲章を尊ぶべき



啓一（町長）多様な価値観や考え方を尊重し、取り組んでいく

質問 町民みんなの力で、豊かで住みよいまちづくりを進める指針、シンボルとする『町民憲章』『町の花鳥木』が昭和55年4月1日に制定されてから、41年の時が経過している。制定以来、町政策や施策、町のイベントなどの趣旨起点となり、大きな力となってきた。いつからか、関りが薄く感じられる。町として現在どのような意識、位置付けられているのか。

答弁 41年経った現在も思いを引継ぎ「町民憲章」町民同士の行動規範目標として「町の花鳥木」は郷土愛を育むシンボルとして大切にされてきた。現代社会における多

質問 多様な価値観や考え方を尊重し、受け入れながら取り組んでいく。

答弁 町民憲章の指針と第5次総合計画との関係性など、機会あるごとに引用啓発アウンスしていくべきではないか。

質問 新たな啓発掲示策として考えられることは。

答弁 今後も、公共施設への掲示などを通して、町民の皆さんに身近に感じていただき、一方で町民から湧き上がってくる思いを受け止めることも想定して、町民同士がつながりを持つ目標であり、シンボルとなるよう周知啓発に努めていきたい。

新型コロナウイルス感染対策について



博（町長）感染予防が大事。PCRは検査時点のもの。感染早期では検知されない可能性

質問 町民の最大関心は新型コロナウイルスに感染しないこと。山形県は含まれていないが9月12日までを期限として緊急事態宣言が21都道府県に、蔓延等重点地域が12県に出されている。また感染力と毒性が強く変異株が現れ、ワクチン接種後でもブレイクスルー感染も確認されている。医療法や感染症法の特別を活かして、町独自の感染防止対策は。

答弁 町のワクチン接種状況は8月末時点で、全体で2回済が48・9%、おおむね11月末までには希望者は接種できる予定。感染防止には、国が示している「新生活様式」の確実な実施が基

質問 本。県は「県外との不要不急の往來の控」を要請。

答弁 町はこれらの内容を広報紙、町ホームページやSNSを活用し、呼びかけを強化している。

質問 県内では宿泊療養者・自宅療養者・調整中の方が約300人いる。

答弁 自宅療養で容態が急変し、お亡くなりになったことがしばしば報道されている。臨時の病床の設置は、

質問 5次総合計画の「町民憲章」5つの目標のすべ

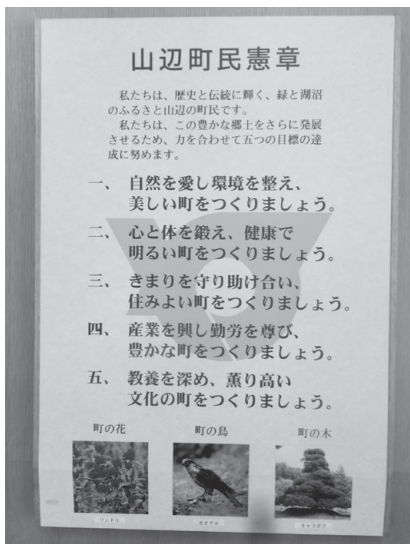
答弁 基本計画の施策大綱の項目は、「町民憲章」5つの目標のすべ

質問 町民憲章の指針と第5次総合計画との関係性など、機会あるごとに引用啓発アウンスしていくべきではないか。

質問 PCR検査の結果は検査時点での感染状況のものであって、陰性でも感染早期で検知されない可能性やその後の感染の可能性もあり「新型コロナウイルスでは100%ない」と言い切れない場合もある。感染により、

質問 自宅療養者の受け入れや病床の確保、病床の設置は、国や県が各医療機関に要請を行い対応している。

質問 町民憲章の指針と第5次総合計画との関係性など、機会あるごとに引用啓発アウンスしていくべきではないか。



町民の新たな元気に結びつく町民憲章などの啓発活用を

